

# 佐々木議員、全振連副理事長と懇談

## 消費税増税反対で共闘を

佐々木憲昭衆院議員は20日、三重県津市で全国商店街振興組合連合会（全振連）の副理事長で政治連盟の会長でもある鯉江盈（こいへ・みつる）氏と懇談し、「消費税増税反対の一点で共闘しよう」と



の思いを語り合いました。懇談には、岡野恵美1区候補、内藤弘一5区候補、大嶽県

委員長も同席しました。

党三重県委員会が同日開いた「提言」の各界懇談会に出席していた鯉江氏は、佐々木氏の「提言」の説明を「よく分かりました」と評価。「私たち商店街振興組合も消費税増税は反対です。ただし『仕方がない』という声もあり、まだまだ宣伝が足りません」と話しました。

れば民主党も自民党も消費税増税では同じ。『オール与党』です」と述べ、「共産党が存在感を出す絶好のチャンスです。今頑張らないと、いつ頑張るのか」とエールを送りました。

佐々木氏が「消費税増税反対の一点で共闘していきましよう」と呼びかけると、鯉江氏は「消費税増税反対は選挙の最大のテーマです」と応じていました。

## 20団体80人参加 三重・各界懇談会

党三重県委員会の主催で20団体、80人が参加した「提言」の各界懇談会でも、小売業者の切実な

発言が相次ぎました。

全国小売業連合代表取締役で三重勤労者百貨店を経営する多喜正男氏は、「消費税が5%に上がったから売り上げが急降下し、きわめて厳しい経営になった」と実状を語り、「10%になったら商店ばかりか、国民の生活がどうなるのか。日本の経済の底が抜ける」と強い懸念を訴えました。

津市大門大通り商店街振興組合の山田和弘理事長は、「消費税は生きるか死ぬかの問題だ。民主もあかん、自民もあかん、いまこそ共産党にがんばってほしい。共産党は最近の覇気がないが、がんばれ」と激励していました。

党県委員会は懇談会に向けて、県中小企業団体中央会の加盟団体など100団体を訪問して案内しました。

国の責任で防災対策を」と訴え。藤井候補も、「ルールなき資本主義をただし、若い世代が希望の持てる社会をつくる」と訴えました。

# 愛知4区、5区で演説会

## 佐々木、河江両氏

佐々木憲昭衆院議員、河江明美比例候補は20日、愛知4区と同5区の演説会で、西田とし子（4区）候補、藤井ひろき（5区）候補とともに訴えました。

佐々木議員は、政府の「社会保障・税一体改革」が、いかに国民負担を増やすものであるか、日本共産党がその対案として「提言」を発表したことを話しました。

河江候補は「増税反対の一点で共同を広げ、消費税増税を阻止する党の議席を増やしてください」と訴えました。

西田候補は地震で大きな被害が予想される名古屋港のコンビナートについて「企業任せではなく、

